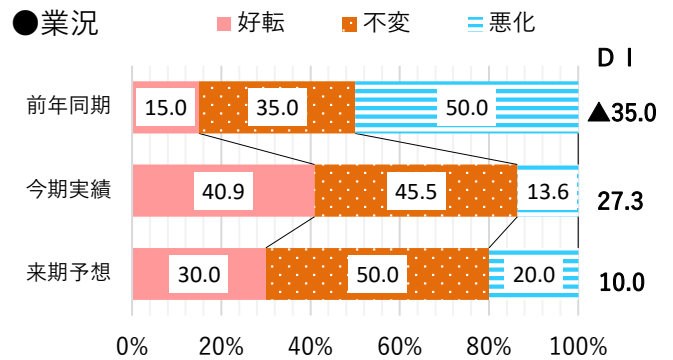


卸 売 業

業況、売上、採算

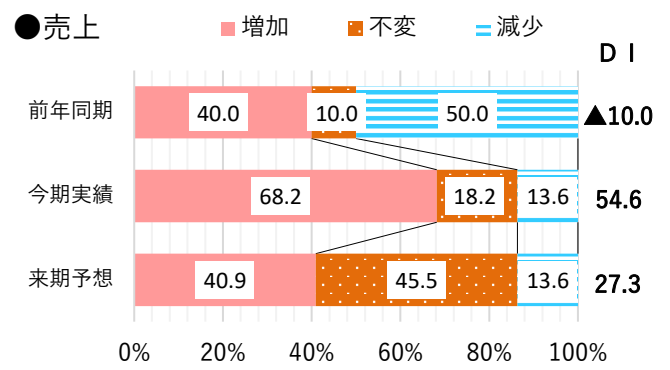
今期(2023.1~3)の業況判断DIは27.3で、前年同期(2022.1~3)と比べ62.3ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期(2023.4~6)は、業況の好転傾向が弱まると予想しています。



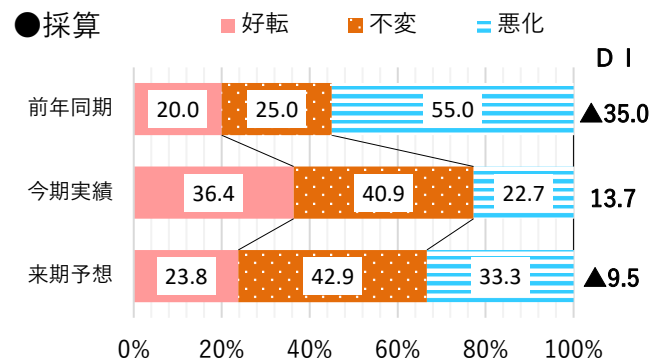
今期の売上DIは54.6で、前年同期と比べ64.6ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上の増加傾向が弱まると予想しています。

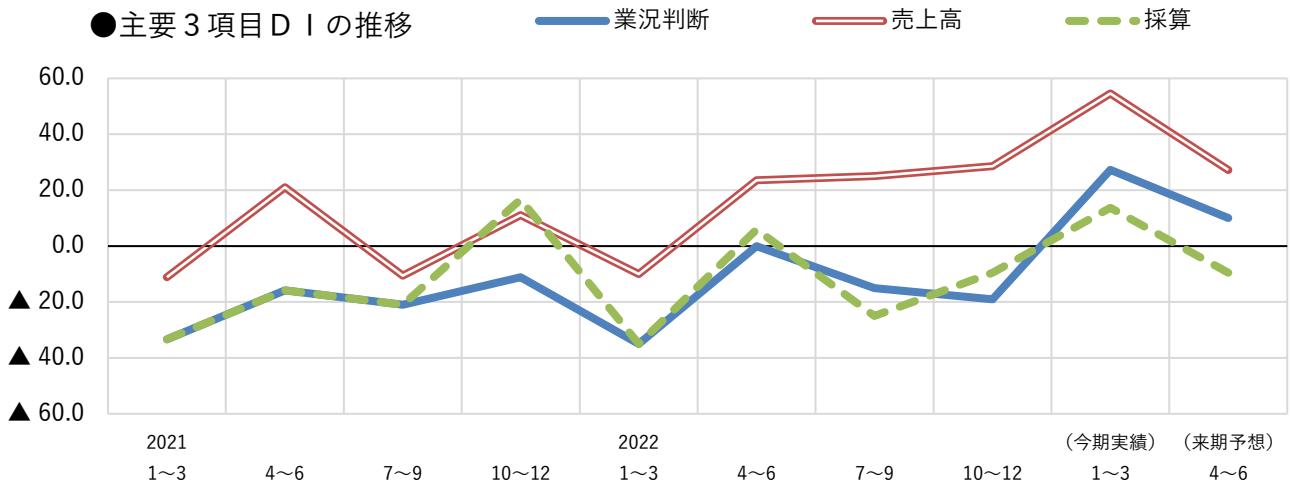


今期の採算DIは13.7で、前年同期と比べ48.7ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算がマイナスに転じると予想しています。



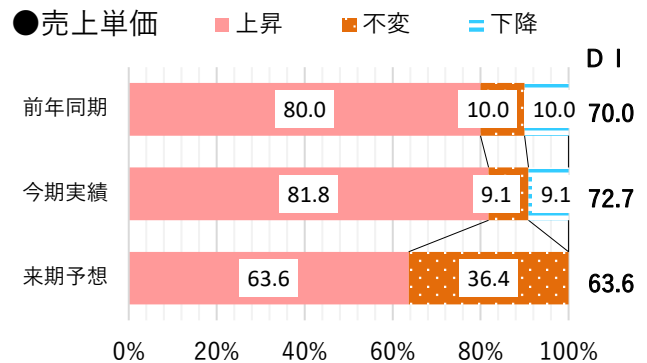
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

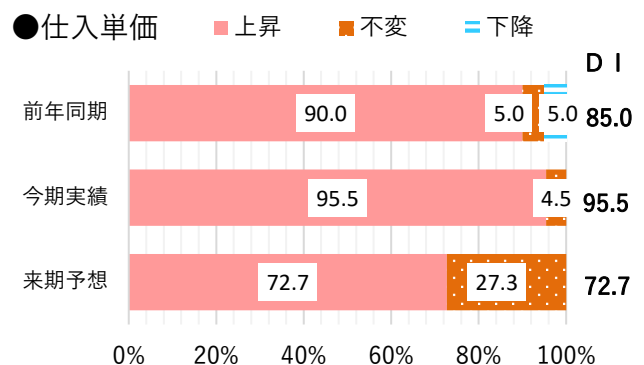
今期の売上単価DIは72.7で、前年同期と比べ2.7ポイント上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が続くと予想しています。



今期の仕入単価DIは95.5で、前年同期と比べ10.5ポイント上昇しました。

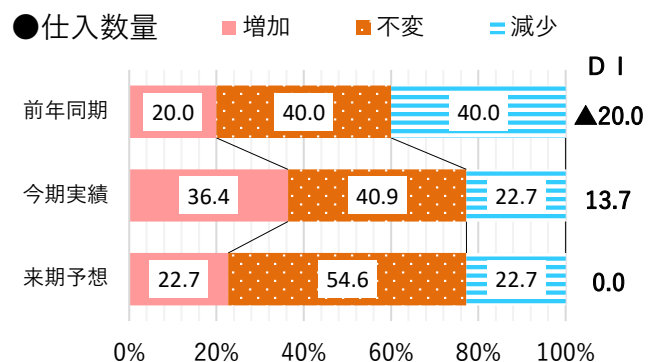
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

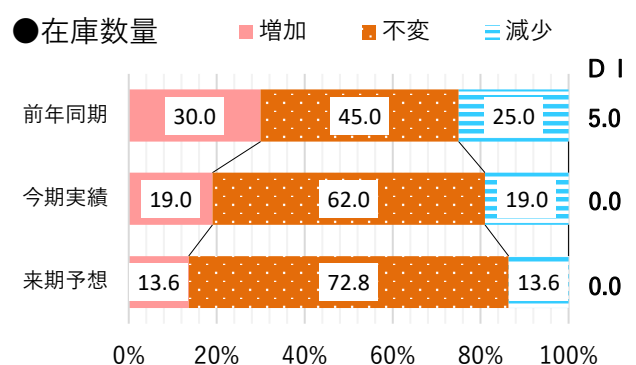
今期の仕入数量DIは13.7で、前年同期と比べ33.7ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、仕入数量の増加傾向が弱まると予想しています。



今期の在庫数量DIは0.0で、前年同期と比べ5.0ポイント低下しました。

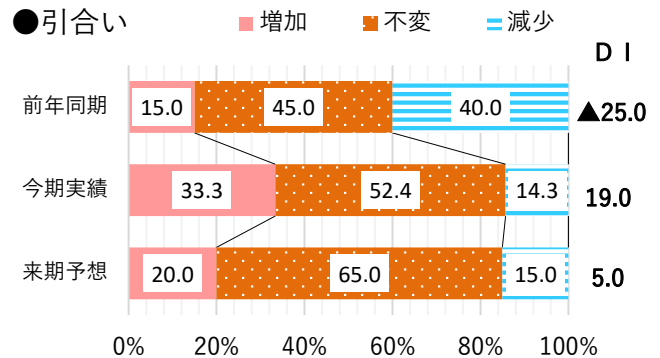
来期は、在庫数量の横ばいを予想しています。



引合い

今期の引合いDIは19.0で、前年同期と比べ44.0ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

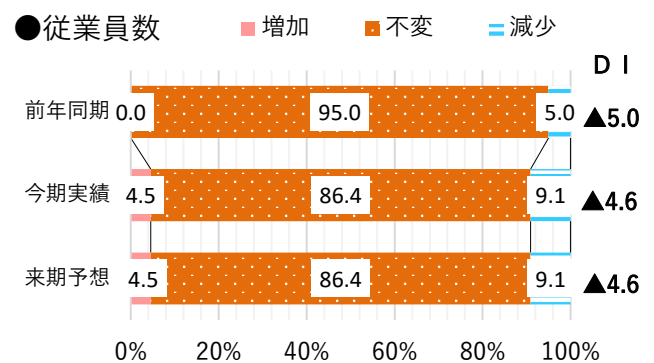
来期は、引合いの増加傾向が弱まると予想しています。



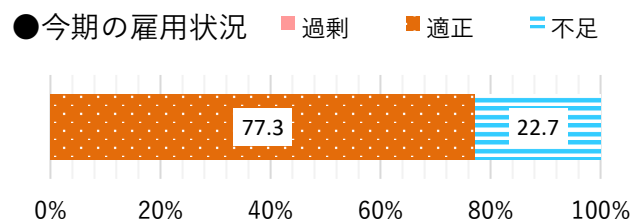
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲4.6で、前年同期と比べ0.4ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の横ばいを予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は77.3%、不足していると回答した企業の割合は22.7%でした。



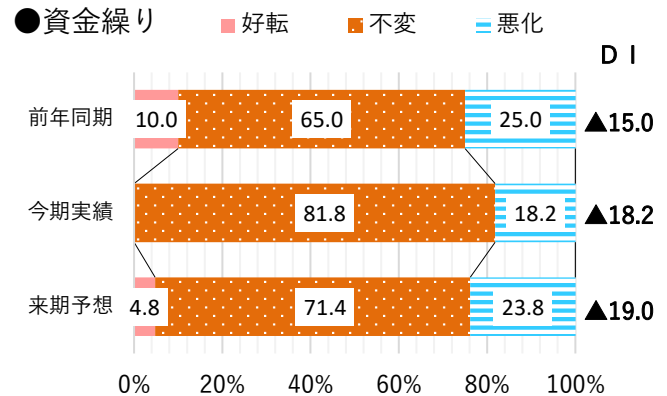
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の72.7%を占めており、不足と回答した企業は約2割でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	16
	不足	3
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	1

資金繰り、設備投資

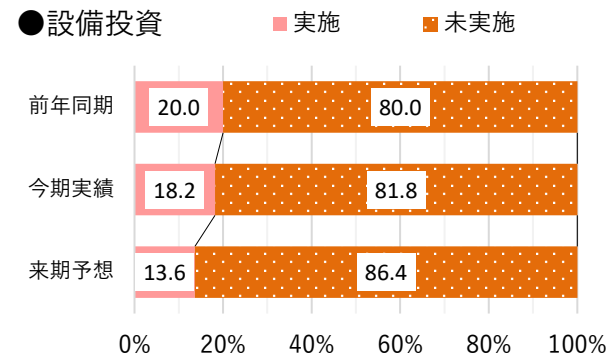
今期の資金繰りDIは▲18.2で、前年同期と比べ3.2ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が続くと予想しています。



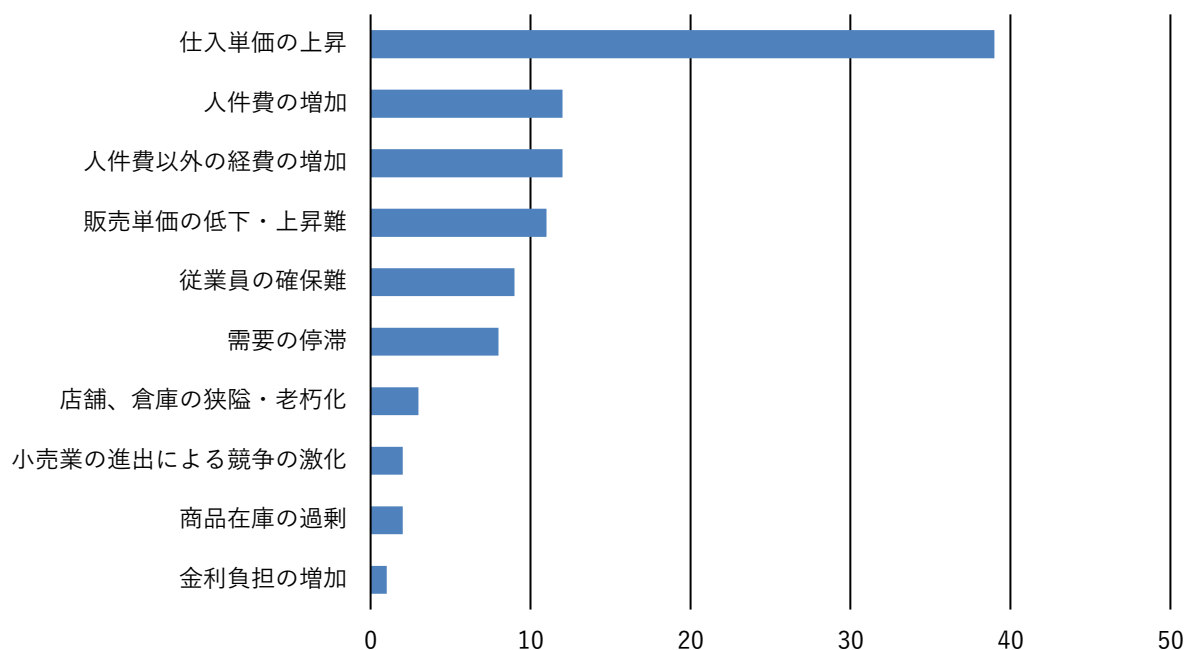
設備投資を実施した企業の割合は18.2%で、前年同期と比べ1.8%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「土地」、「OA機器」（同位）でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は13.6%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」（同位）、3位が「販売単価の低下・上昇難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 前年同期比で売上は30～50%、仕入価格は5～8%増加した。人材不足が課題だ。(食料・飲料卸売)
- コロナ禍の影響を受けていた昨年同期と比べ、売上が増加し、採算と業況も好転した。(食料・飲料卸売)
- コロナ禍においても新規案件を獲得でき、業況の好転につながった。(食料・飲料卸売)
- 仕入価格の上昇により採算が悪化した。(食料・飲料卸売)
- 新型コロナウイルスの感染者が減少し、経済活動が回復に向かうと思われる。自動車工場の稼働再開、新車の流通回復に期待する。除雪業務の稼働は少なかった。(自動車部品)
- 大型案件があり、売上額が増加した。(事務用品)
- 販売数量が減少したが、販売単価を引き上げた分売上は増加した。需要が伴わず、市場に活気がない。(鉱物・金属材料)
- 北海道新幹線の照明工事、後志自動車道関連の建設資材納入量の増加で売上は増加した。セメント他原材料の仕入価格は大幅に上昇した。(建築材料)
- 価格転嫁が難しく、採算が悪化した。メーカーの廃業等もあり、厳しい状況だ。(包装資材卸売)
- 一昨年からの仕入価格の上昇が続いている。なんとか価格転嫁できているため、売上は増加しているが、利益が追いついていない。(塗料卸売)

[来期の業況について]

- 売上の増加や採算、業況の好転傾向が続くと思われる。(食料・飲料卸売)
- 仕入単価は上昇するが、価格転嫁も順調にできると思われるため、業績は不変を見込む。(事務用品)
- 販売数量の減少は避けられないと思う。苦戦を見込む。(鉱物・金属材料)
- 今期同様、業況は順調に推移すると思われる。(建築材料)
- 商品仕入単価の高騰がいつまで続くか分からないため、見通しが立たない。(包装資材卸売)
- 既に6月からの価格改定の案内が取引先から届いているため、商品仕入単価は上昇する。利益確保のために価格転嫁に着手したい。(塗料卸売)
- 燃料油価格激変緩和補助金がいつ、どの程度減少するのか分からないため、悪化を見込む。(石油卸売)